

KENWOOD

TCP-D151C TCP-D251C

VHF デジタル簡易無線電話装置 (免許局)


UHF デジタル簡易無線電話装置 (免許局)

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。本機は日本国内専用のモデルですので、国外で使用することはできません。



株式会社 JVCケンウッド

B5A-0945-20 (J) 





株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

- 修理などアフターサービスについては、弊社ウェブサイトをご覧ください。JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。



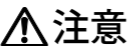
http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html




JVC ケンウッドカスタマーサポートセンター	
固定電話からは、フリーダイヤル	
 0120-2727-87	
携帯電話・PHS からは、ナビダイヤル	
 0570-010-114	
一部の IP 電話など、フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用になれない場合は	
045-450-8950	
FAX を送信される場合は	
045-450-2308	
住所	〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12
受付日	月曜日～土曜日（祝祭日および、弊社休日を除く）
受付時間	月～金曜日 9：30～18：00 土曜日 9：30～12：00、13：00～17：30

安全上のご注意

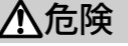
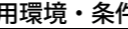
絵表示について


この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、下記の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。


	危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

	△記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。
	●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを AC コンセントから抜く）を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。


	危険
	使用環境・条件


-  引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリンなどの可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。


-  運転しながら本機を操作(通信)するのはおやめください。安全な場所へ車を停車させてから操作(通信)してください。


充電電池（バッテリーパック）の取扱について


充電電池は下記のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。


-  充電電池を電磁調理器の上に置いたり、電子レンジや高压容器に入れしないでください。


-  充電温度範囲は、5℃～40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。


-  専用充電台以外では充電しないでください。

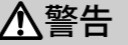
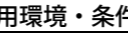
-  本機以外の機器に取付けしないでください。


-  火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。


-  端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。


-  液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

-  液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。


	警告
	使用環境・条件


-  電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。


-  空港施設、鉄道施設、港湾、病院などの管理区域に指定されている場所での無線機器の使用については、各施設管理者にお問い合わせ、ご確認した上でご使用ください。


-  本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。


使用方法について


-  エアバック装置の近くに無線機を置かないでください。エアバック装置が動作したときなど無線機が体に当たって怪我をすることがあります。


-  機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイクロホンなどのケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。


-  本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。





-  本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。


-  アンテナやストラップを持って、無線機を振り回さないでください。人に当たってけがを負わせたり、物に当たって無線機が破損することがあります。

-  ネックストラップを使用している場合、ネックストラップがドアや機械等に挟まれないように注意してください。怪我の原因となります。


-  高温になる場所（火のそば、暖房機のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、怪我の原因となります。


-  アンテナ端子に触れているときに送信しないでください。高周波やけどの原因となります。


異常時の処置について
 内部に水や異物が入った場合や、落としたり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
 落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。
 煙が出たら、すぐに電源を切り、電池を外し、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
 雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源を切り、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。
保守・点検


-  本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。


	注意
	使用環境・条件


-  テレビやラジオ、パソコンの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

-  直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。


-  ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。


-  調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。


-  結露した場合は、自然乾燥させるか、長い時間同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。


-  無線機や付属品は幼児の手の届かないところに保管してください。


使用方法について



-  アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。


-  スピーカー／マイク端子には指定されたオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

-  乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用した時に静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じるがあります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクロホンをご使用ください。

-  長期間使わないときは、電源を切り、電池を外してください。

-  お手入れの際は、電源を切り、電池を外してください。

-  イヤホンを使用するときは、音量を上げすぎないでください。聴覚障害の原因となることがあります。
-  水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

	◆ 充電器などのオプション使用時の注意についてはオプションに付属の取扱説明書をご覧ください。
---	---

保証とアフターサービスについて

保証書（別添）

この製品には、保証書を（別途）添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より**2年間**です。

修理を依頼されるときは

異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合、設定された項目がリセットされる場合がありますので、別途お客様ご自身でお控えますようお願いいたします。また、本機の故障、誤動作、不具合などによって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

保証期間中は・・・

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

修理料金の仕組み（有料修理の場合は下記の料金が必要です。）

技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。

部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材などを含む場合があります。

送料：郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などをおこなうにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

運用上の注意

- 使用上の制限**
通話は免許状に記載された下記事項の範囲内で行わなければなりません。
 - 無線局の目的
 - 通信の相手方
 - 通信事項
また、免許人以外が運用することは原則としてできません。



- 免許の有効期限**
免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。

- 再免許の申請**
引き続き運用する場合は、有効期間が終了する 6 か月前から 3 か月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。

- 免許の申請その他の手続き**
免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 再免許の申請
 - 免許状の記載事項に変更が生じる場合
 - 免許状が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
 - 無線設備を変更する場合
 - 無線局を廃止した場合

ご使用の前に

説明上の注釈表記について

-  このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。
-  このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

運用上のご注意

- 施設の管理等により、無線機器の使用が禁止されているところでは、本機を使用しないでください。

ご使用上の注意

- テレビ、ラジオ、パソコンなどの電子機器の近くで使用すると、電波妨害を与えたり、受けたりすることがあります。これらの機器からは離れてお使いください。
- 本機を複数でご使用いただく場合、近距離(約 10m 以内)で同時に通信しないでください。異なるチャンネル同士であっても、妨害を与えたり受けたりする場合があります。
- 通話のできる距離は地形や環境(天候や建物などの障害物)によって、送受信しにくくなる場合があります。そのようなときは、少し場所を移動して運用してください。
- 目安は下記のとおりです。建築物が多い地域や、自動車などの金属物体の周囲では、通話のできる距離が短くなります。
 - ※送信出力 5W 出力時
 - ・市街地：0.5 km ～ 1 km
 - ・見通しのよい場所：1 km ～ 4 km

免責事項について
本機の故障・誤動作などにより、利用の機会(通話など)を逸したために発生した障害などの付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねます。

音声圧縮(符号化)方式について
米国 DVI 社の開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、本機は AMBE+2™ に対応しています。
The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #8,315,860, #8,595,002, #6,199,037, #6,912,495, #8,200,497, #7,970,606, and #8,359,197.

電波法に関するご注意

- 本機は電波法に基づいて、特定無線設備の工事設計についての認証を取得した、デジタル簡易無線機です。本機裏面の技術基準適合証明ラベルをはがして使用することは、電波法により禁止されています。
- 本機を分解したり、改造して使用することは電波法により禁止されています。
- 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用することは電波法により禁止されています。

防塵 / 防水性能について

本製品は設計段階において該当する防塵 / 防水性能の試験をおこないその性能を確認しておりますが、実際の使用においては下記の条件や注意事項をお守りください。

- 防水保護 IP67 相当の防塵 / 防水性能を備えていますが、実際のご使用にあたって、全ての状況で防塵 / 防水を保証するものではありません。
- ナット付きのオプションを使用する場合は、プラグを確実に取り付けしてからナットで固定してください。また、取り付けの際には、微細なゴミ(微細な繊維、髪の毛、砂など)を挟んでいないか、ご確認ください。
- 石鹸水、洗剤、調味料、ジュース、海水、油など水道水以外のものをかけたり、浸けたりしないでください。また、高温のお湯に浸けたり、かけたりしないでください。
- 本機が濡れているときは防水カバーを開けないでください。
- オプションを接続するときはプラグを確実に固定してください。
- オプション自体の防塵 / 防水性能は各オプション製品により異なります。
- 充電台や AC アダプターは防塵 / 防水性能ではありません。本機が濡れている状態では使用しないでください。
- 本機に衝撃を与えた場合は、防塵 / 防水性能に影響を与える場合があります。

本機の付属品

保証書 1
取扱説明書(本書) 1

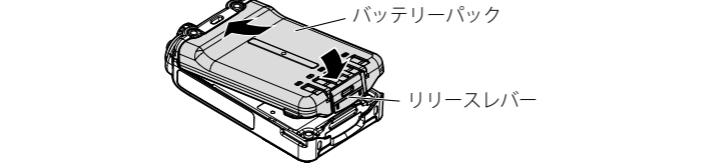
バッテリーパックについて

本器に使用できる充電式バッテリーパックは下記です。
・KNB-74L リチウムイオンバッテリーパック(1100 mA/h)
・KNB-75L リチウムイオンバッテリーパック(1800 mA/h)

バッテリーパックの取り付け / 取り外し

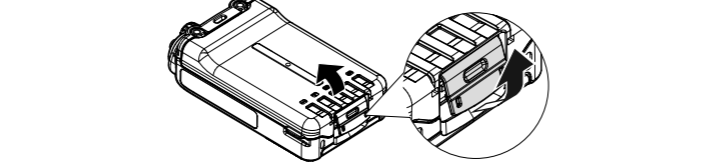
バッテリーパックの取り付け


バッテリーパック上側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、リリースレバーを本体にロックさせます。



バッテリーパックの取り外し

バッテリーパックのリリースレバーを開きながら取り外します。



-  ◆ バッテリーパックを取り外す際は、無線機本体やバッテリーパックを落とさないように注意してください。


バッテリーパックの特性について

- 充電電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充電したり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- 長期間保存後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電 / 放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。

バッテリー使用時間の目安(Typ値)

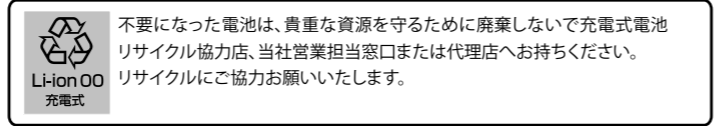
送信出力 5W で、送信 5 / 受信 5 / 待受け 90 の比率にて連続運用した場合
*()内はバッテリーセーブの設定
・KNB-74L：約 9 時間(ON) / 約 7 時間(OFF)
・KNB-75L：約 15 時間(ON) / 約 11 時間(OFF)


バッテリー残量警告

バッテリーの容量が減ると、表示部の「」が点滅して知らせます。送受信 LED が赤に点滅し警告音が鳴ります。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。

使用済み充電電池の取扱注意事項

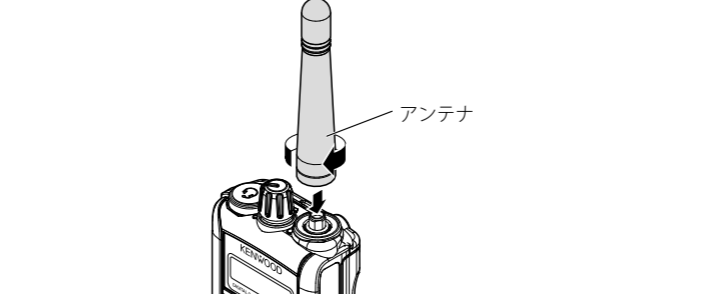
- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



-  ◆ バッテリーパック、充電器、ACアダプター、ベルトフックは専用品を使用してください。
- ◆ バッテリーパックは出荷時には満充電されていません。お使いになる前に必ず満充電にしてご使用ください。
- ◆ 長時間お使いにならないときは、バッテリーパックを本機から取り外してください。
- ◆ バッテリーパックの端子をショートさせたり、バッテリーパックを火中に投げたりしないでください。また、分解しないでください。

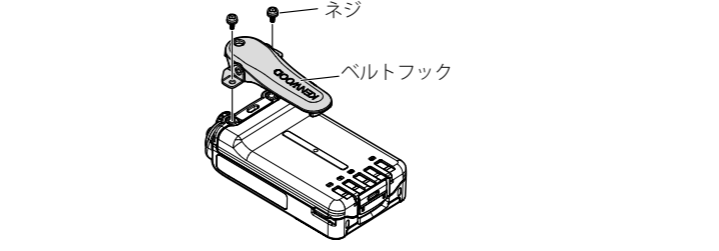
アンテナの取り付け


アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクタに時計方向(右)に固定されるまで回して確実に取り付けます。



ベルトフックの取り付け

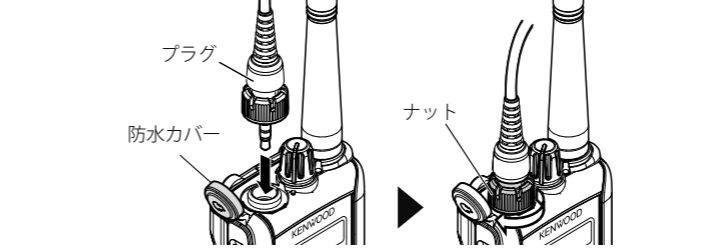
ベルトフック KBH-20 と本体のネジ穴を合わせて、ベルトフックに付属のネジで取り付けます。ベルトフックを本体のネジ穴に合わせて、ネジで緩まないようにしっかり取り付けてください。




-  ◆ 付属以外のネジを使用しないでください。
- ◆ ネジの緩みがないか時々確認してください。

オプション機器の接続

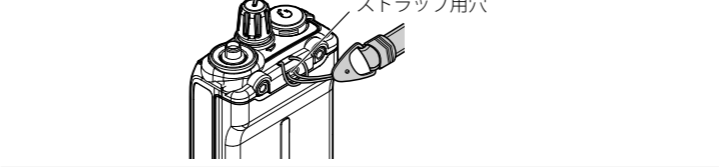
イヤホン / マイクロホンなどを接続します。
防水カバーを外して、無線機の接続端子にオプション機器のプラグを差し込み、プラグのナットを時計方向(右)に固定されるまで回して確実に取り付けます。




-  ◆ 必ず無線機の電源を切った状態で接続してください。
- ◆ プラグの差し込みが不十分の場合、電源を入れたときに警告音が鳴り「コネクタ異常」と表示されます。
- ◆ 使用前に、オプション機器の取扱説明書をお読みください。
- ◆ オプション一覧に記載している専用品を接続してください。専用品以外を接続すると誤動作や故障の原因になります。
- ◆ プラグを取り外すときは、プラグ部をしっかり持って取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、故障の原因になります。

ストラップの取り付け

市販品のストラップを取り付けるときは、無線機背面のストラップ用穴を使用してください。



-  ◆ ストラップを持って無線機を振り回さないでください。故障やけがの原因となります。

オプション一覧

本機用として下記のオプションが用意されています。


- ・KNB-74L リチウムイオンバッテリーパック(1100 mA/h)
- ・KNB-75L リチウムイオンバッテリーパック(1800 mA/h)
- ・KBP-9 バッテリーケース(アルカリ単4電池×6本、防水)
- ・KSC-256 6 連急速充電器
- ・KSC-45LCR 連結充電台
- ・KSC-45LSL KSC-45LCR 4 連結用 AC アダプター
- ・KSC-47L 急速充電器
- ・KMC-55 スピーカーマイクホン(防水)
- ・EMC-13 イヤホン付きクリップマイクホン(インナーイヤータイプ、ライトユース)
- ・EMC-14 イヤホン付きクリップマイクホン(耳掛けタイプ、ライトユース)
- ・EMC-15 イヤホン付きクリップマイクホン
- ・KHS-37 ヘッドセット(耳掛けタイプ、ライトユース)
- ・KEP-6 イヤホン(イヤホンハンガー付き)
- ・KBH-20 ベルトフック
- ・KLH-203 ハードケース
- ・KSB-1 ショルダーベルト

■TCP-D151C 用

- ・KRA-22B VHF ヘリカルショートアンテナ
- ・KRA-26B VHF ヘリカルアンテナ

■TCP-D251C 用

- ・KRA-23 UHF ヘリカルショートアンテナ
- ・KRA-27B UHF ホイップアンテナ

-  ◆ バッテリーケース KBP-9 使用時の送信出力はローパワー(1W)になります。
- ◆ 本機に使用できるオプションが追加されたり、生産が終了することがあります。オプションについてはカタログなどをご覧ください。

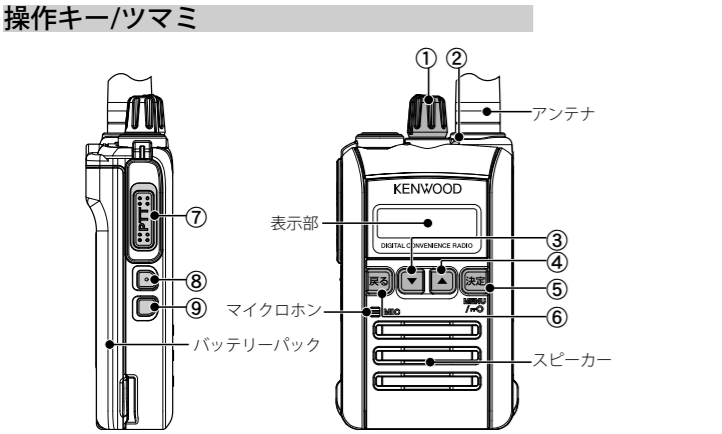
仕様

機種名 / 型式名	TCP-D151C
	TCP-D251C
送信出力	5 W/1 W
チャンネル数	TCP-D151C: 28 ch
	TCP-D251C: 65 ch
周波数	TCP-D151C: 許可された 28 波 (154 MHz 帯)
	※内 9 波はデータ通信のみ
	TCP-D251C: 許可された 65 波 (467MHz 帯)
電波型式	TCP-D151C: F1E, F1D, F1F (19 波)
	F1D, F1F (9 波)
	TCP-D251C: F1E, F1D, F1F
使用電源	7.4V DC ± 10 %
外形寸法(突起物含まず 幅×高さ×奥行)	
56 × 92 × 24.6 mm (KNB-74L 装着時)
56 × 92 × 29.4 mm (KNB-75L 装着時)
外形寸法(突起物含む 幅×高さ×奥行)	
59.2 × 108.9 × 28.2 mm (KNB-74L 装着時)
57.3 × 108.9 × 29.6 mm (KNB-75L 装着時)
質量(アンテナ、ベルトフック、バッテリーパック含む)	
TCP-D151C: 227 g (KRA-22B、KNB-74L装着時)
	259 g (KRA-22B、KNB-75L装着時)
TCP-D251C: 218 g (KRA-23、KNB-74L装着時)
	250 g (KRA-23、KNB-75L装着時)

アンテナ端子(本体)SMA-P
防塵・防水性能IP54/55/67 相当

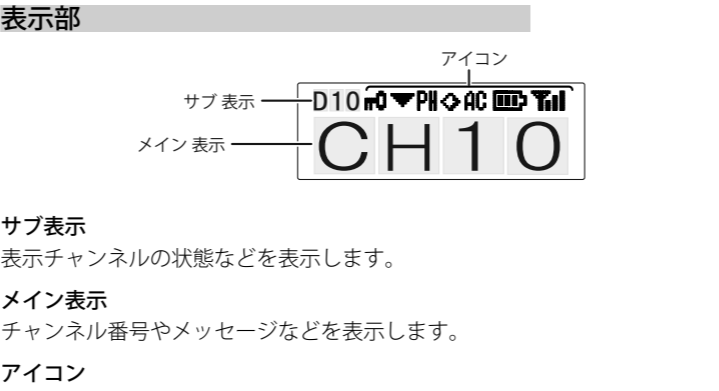
※仕様は予告なく変更することがあります。
※本製品は種別コード 3A(TCP-D151C)/3B(TCP-D251C)の無線機です。

各部の名称と機能



- 【電源/音量】**
電源のON/OFF、および音量を調節します。
- 送受信LED**
送信時は赤色に点灯します。受信時は緑色に点灯します。選択呼出し受信のときは橙色に点滅します。
- 【▼】**
 - 押すとチャンネル番号が下がります。
 - 押し続けると、押している間連続してチャンネル番号が下がります。
- 【▲】**
 - 押すとチャンネル番号が上がります。
 - 押し続けると、押している間連続してチャンネル番号が上がります。
- 【決定】**
 - 押すと簡易メニューを表示します。
 - 押し続けるとキーロック機能がON/OFFします。
- 【戻る】**
押している間、現在のチャンネルをモニターします。
- 【PTT】**
押すと送信します。押したままマイクロホンに向かって話します。
- 【サイド1】**
押し続けると送信出力が切り替わります。
- 【サイド2】**
押すと音量アッテネート機能がON/OFFします。

- ◆各キー動作機能は出荷時の設定です。販売店でのオプション設定により、動作機能は変更できます。
- ◆選択呼出し機能を使用するには販売店にて設定が必要です。



アイコン	説明
	受信している電波の強さを表示します。 電波強度アイコン :強 電波強度アイコン :中 電波強度アイコン :弱 電波強度アイコン :微弱
	バッテリー容量の残量を表示します。 バッテリー残量アイコン :高 バッテリー残量アイコン :中 バッテリー残量アイコン :低 バッテリー残量アイコン (点滅):要充電
	点灯:スキャン中。 点滅:スキャン一時停止。
	秘話機能がONのときに表示します。
	送信出力を表示します。 H:ハイパワー出力(5W) L:ローパワー出力(1W)
	セミVOX機能がONのときに表示します。
	キーロックがONのときに表示します。
	イヤホンモードがONのときに表示します。
	音量アッテネート機能がONのときに表示します。
	PTTホールド機能がONのときに表示します。
	セカンドPTT機能がONのときに表示します。
	モニター機能がONのときに表示します。
	表示しているチャンネルがスキャン対象のときに表示します。
	メッセージの受信履歴(スタックデータ)を表示します。 点灯:受信履歴に既読のメッセージがあります。 点滅:受信履歴に未読のメッセージがあります。
	プライオリティチャンネルが設定されているときに表示します。
	サイレントアラーム機能がONのときに表示します。
	サイレントアラーム動作中に受信があったときに点滅します。

アイコン表示位置
アイコンは下記のように7列に表示されます。また、上位列のアイコンほど表示の優先度が高くなります。

1	2	3	4	5	6	7
					-	
				-	-	-

- ◆各アイコンは、販売店にて機能が設定されている場合に表示されます。

操作のしかた

通話する

1 【電源/音量】を右(時計方向)に回して電源を入れる
「ピーッ」と鳴って電源が入ります。電源を切るには【電源/音量】を「カチッ」という音がするまで左(反時計方向)に回します。

2 【▲】/【▼】を押してチャンネルを合わせる



相手局の電波を受信すると、送受信LEDが緑色に点灯し、スピーカーから受信音が聞こえます。

3 【電源/音量】を回す

右(時計方向)に回すと音量が大きく、左(反時計方向)に回すと音量が小さくなります。

4 【PTT】を押す

送信状態になり、送受信LEDが赤色に点灯します。

- 他に送信している無線局がないことを確認してから送信してください(送受信LEDの緑色が消灯していること)。

5 マイクロホンに向かって話す

【PTT】を押し続けながら話します。マイクロホンは口元から3～4cm程度離してください。【PTT】を離すと待受受信状態に戻ります。

	◆他に送信している無線局がないことを確認してから送信してください(送受信LEDの緑色が消灯していること)。
	◆使用できるチャンネルや表示されるチャンネル名は、設定により異なります。設定内容については販売店にお問い合わせください。
	◆TCP-D151Cは、データ専用チャンネルでの音声通話はできません。
	◆通信は免許状に記載された無線局の目的、通信の相手方、通信事項の範囲を超えないでください(非常通信など電波法で定める場合を除く)。
	◆大きな声で話したり、マイクロホンとの距離が近すぎると、明瞭度が低下する場合があります。

バックライト

キーを操作すると表示部と前面キーの照明が5秒間点灯します。

タイムアウトタイマーについて

連続送信を自動的に停止する機能です。本機は、連続して5分以上の送信はできません。5分以上送信を続けると警告音が鳴り、送信が停止します。この場合1分以上経過しないと再度送信することはできません。

出荷時に設定されている機能

送信出力切り替え

送信出力をハイパワー(5W)からローパワー(1W)に切り替えます。

- 【サイド1】を押し続ける
送信出力がローパワー(1W)に下がります。ローパワーのときに【サイド1】を押し続けると、送信出力がハイパワー(5W)に戻ります。
 - ハイパワー時は「**H**」が、ローパワー時は「**L**」アイコンが表示されます。

音量アッテネート

一時的にスピーカーの音量を下げます。

- 【サイド2】を押す
音量が下がります。音量が下がっているときに【サイド2】を押すと、元の音量に戻ります。
 - 音量ATT時は「」アイコンが表示されます。

キーロック

操作キーをロックし、ポケットなどに入れているときの誤操作を防ぎます。

- 【決定】を押し続ける
キーがロックされます。キーロック時は、「」アイコンが表示されます。キーロック中にキーを操作すると「ロック中」と表示されます。



キーロックしているときに【決定】を押し続けると、キーのロックが解除されます。

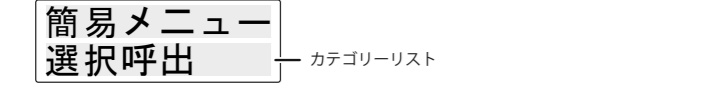
操作のしかた(続き)

メニューモード

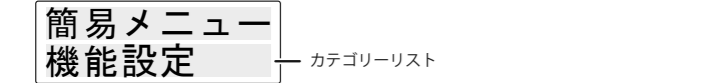
いろいろな機能をメニュー形式で実行 / 設定するモードです。

メニューの表示

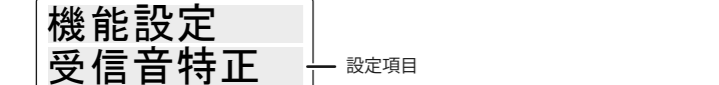
- 【決定】を押す**
メニューモードに入り、カテゴリリストが表示されます。



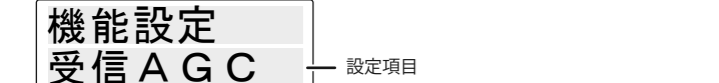
- 【▼】/【▲】を押してカテゴリを選択する**



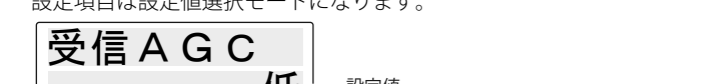
- 【決定】を押す**
設定項目が表示されます。



- 【▼】/【▲】を押して設定項目を選択する**



- 【決定】を押す**
起動項目は機能が動作します。
設定項目は設定値選択モードになります。




- 【▼】/【▲】を押して設定値を選択する**

- 【決定】を押す**
設定値が確定して、設定項目表示に戻ります。

- 【戻る】を押す**
カテゴリリストに戻ります。

- 【戻る】を押す**
チャンネル表示に戻ります。

	<ul style="list-style-type: none">◆ カテゴリが1つの場合は、手順8でチャンネル表示に戻ります。 ◆ メニューは最大8つのカテゴリに分類されますが、カテゴリが1つしか設定されていない場合は、直接設定項目が表示されます。 ◆ 表示されるメニューの項目やカテゴリは設定により異なります。設定内容および機能の詳細や操作については、販売店にお問い合わせください。
---	--

メニュー設定項目

表示	項目
DR 1 選択	ダイレクトチャンネル1に設定
DR 2 選択	ダイレクトチャンネル2に設定
DR 3 選択	ダイレクトチャンネル3に設定
DR 4 選択	ダイレクトチャンネル4に設定
DR 5 選択	ダイレクトチャンネル5に設定
マイクタイプ	外部マイクロホンタイプ
固定音量	固定音量
グループ呼出	グループ呼出
グループ+D	グループ+ステータス
グループ+ M	グループ+SDM (ショートデータメッセージ)
個別呼出	個別呼出
個別+D	個別+ステータス
個別+ M	個別+SDM (ショートデータメッセージ)
ローパワー	送信出力 (ローパワー)
メンテ	メンテナンスモード
モニター	モニター ON/OFF
優先CH	プライオリティチャンネルに設定
PTT HOLD	PTT ホールド ON/OFF
受信音特性	受信オーディオコライザー
受信AGC	自動音量制御
スキャン	スキャン
スキャン対象	スキャン対象 (チャンネル)
秘話	秘話 ON/OFF
秘話鍵名	秘話鍵リスト番号
サイレント	サイレントアラーム
受信履歴	受信履歴
ステータス	ステータス
メッセージ	メッセージモード
パスワード	無線機パスワード
送信音特性	送信オーディオコライザー
送信AGC	自動マイクゲイン制御
一括 UC	一括 UC
セミ VOX	セミ VOX ON/OFF
VOX 感度	セミ VOX マイク感度
イヤホン切替	イヤホンモード
縦倍角設定	縦倍角メニュー表示
自動液晶照明	自動バックライト
2nd PTT CH	セカンド PTT チャンネル
2nd PTT BEEP	セカンド PTT ビープ音
2nd PTT TIME	セカンド PTT スキャン再開時間
全初期化	全設定初期化

PF(プログラマブルファンクション)

販売店のオプション設定により本機のキーに下記機能などが設定できます。
<設定できる機能の詳細や操作については販売店にお問い合わせください。>

- なし
- バックライト
- ワンタッチコール
- チャンネルアップダウン
- 最終受信チャンネル (スキャン)
- ダイレクトチャンネル
- エマージェンシー
- 外部マイクロホンタイプ
- 選択呼出し設定
- ステータス
- ショートメッセージ
- キーロック
- 送信出力 (ロー・パワー)
- 簡易メニュー
- モニター
- プライオリティチャンネルに設定
- PTT ホールド
- 受信オーディオコライザー
- 送信オーディオコライザー
- 自動音量制御
- 自動マイクゲイン制御
- スキャン
- 秘話
- サイレントアラーム
- 音量アッテネート
- 音声アナウンス
- セミ VOX
- セカンド PTT

デジタル通信について

設定内容や機能の詳細については販売店にお問い合わせください。

ユーザーコード(UC) 通信

同じチャンネルを複数のユーザーが使用する場合、同じユーザーコードを設定している通話グループの音声しか聞こえないようにする方式です。本機はユーザーコード (UC) を 1 ～ 511 の範囲で設定できます。

選択呼出し機能


選択呼出し機能を使用すると、個別、グループと自由に選択して呼び出すことができます。選択呼出し機能の呼び出しを受けると、各々の呼び出し音が鳴り LED が「橙」に点滅します。

個別呼び出し
相手局を個別に呼び出して通話できます。

個別呼び出し(アクノリッジ 要求)
相手局が通話可能であることを確認して通話できます。

グループ呼び出し
グループ分けに対応した呼び出し通話ができます。

ステータスおよびショートメッセージ機能

あらかじめ設定された簡易メッセージ (「休憩中」「作業中」など) を送信する機能です。メッセージを受信すると表示部に「」が点滅して知らせます。受信したメッセージは受信履歴モードで確認できます。

秘話通信

音声データに暗号化をおこない、秘匿性を高めた送受信ができます。